

VLF220 壁掛け金具 取扱説明書

----- 重量 59kg 以下の薄型テレビの、木柱への取り付けに適用 -----

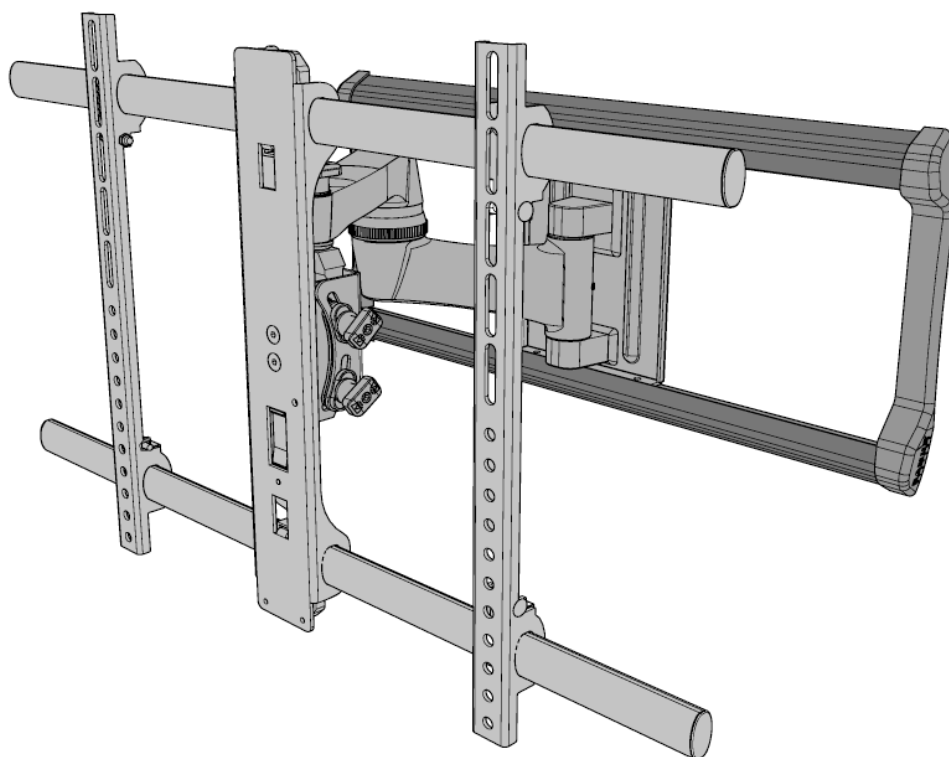
この度は、VLF220 の壁掛け金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
VLF220 は、37V 型～65V 型の薄型テレビを、壁面から 539mm 引き出したり、視野角を +5 度- 15 度に、
又左右に ± 75 度の首振りや、± 5 度の水平回転調整が可能です。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要となります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ

フラットテレビの取り付けには特別の技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。
取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。



A 図

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。
表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。



注意 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。(してはいけない禁止内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(気をつける内容)

警告



禁止

壁の強度は少なくともフラットテレビの重量の5倍の強度に耐える場所が必要です。
VLF220 壁掛け金具は、37V型～65V型で、総重量 59kg 以下の液晶等の薄型テレビを、木柱又はコンクリート製の壁面に固定するためのものです。
これらの最大耐荷重以上の薄型テレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。又、木製やコンクリート以外の鉄骨製の壁面には取り付け出来ません。
この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。



工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。



取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。



荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。
強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。



湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。
又、エアコンの上や下にテレビを取り付けしないで下さい。
テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



禁止

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めて下さい。
ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。
指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



テレビの取り付けや取り外し作業は2人以上で行って下さい。
テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となります。



禁止

本製品には小さな部品が同梱しており、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、子供のそばにこのような部品を置かないで下さい。
又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですから子供を側に近づけないで下さい。



取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。



組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損していないことを確認してください。
足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン株式会社に連絡して下さい。
破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。



壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。



ネットワークジャパン株式会社は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して責任を負いません。

2. 仕様書

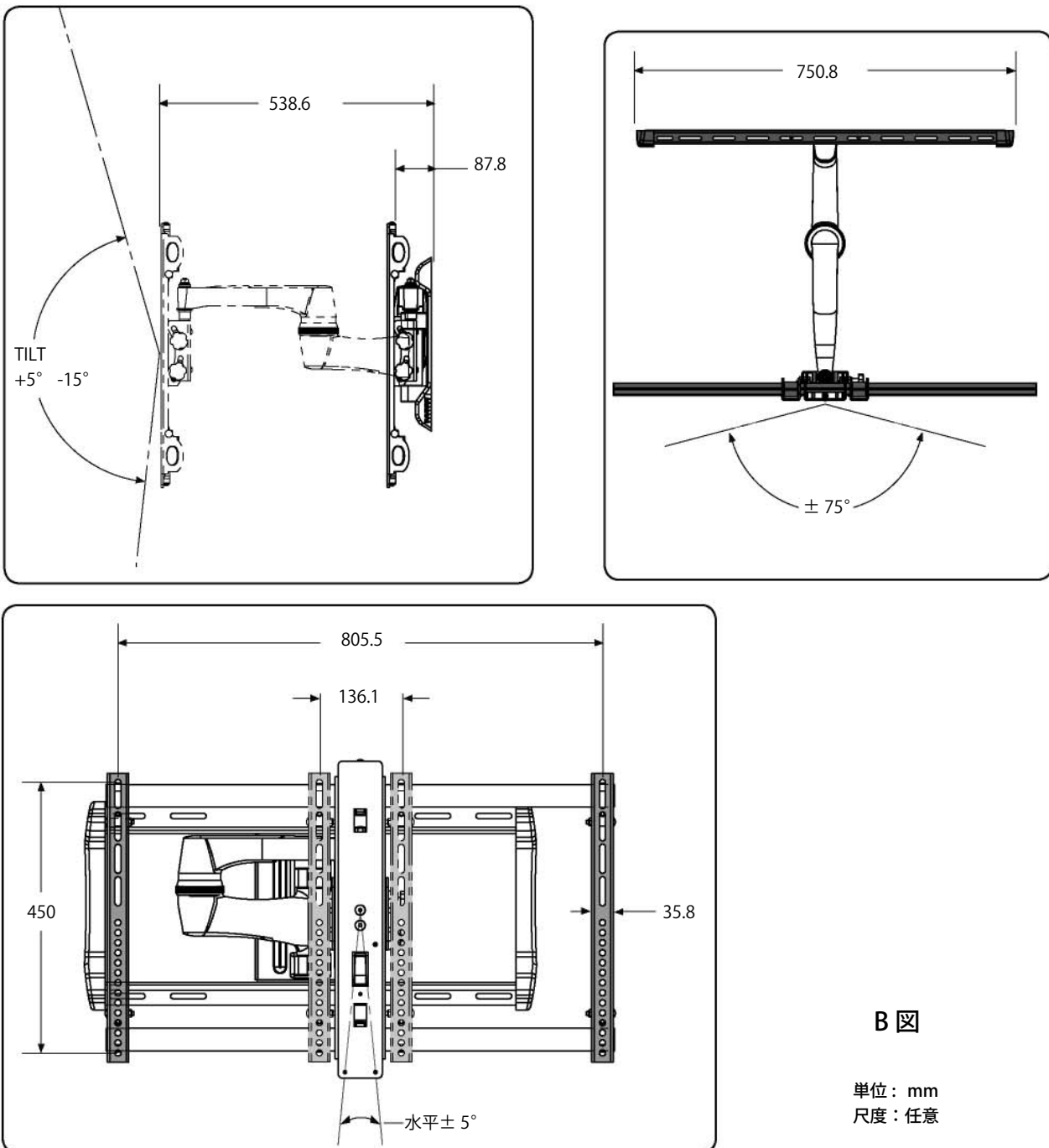
1-1 仕様

- 1) 耐荷重: 59kg 超過しないようにしてください。テレビと付属品を含みます。
- 2) 左右首振り: $\pm 75^\circ$
- 3) 上下ティルト: $+5^\circ \sim -15^\circ$
- 4) 水平: $\pm 5^\circ$

注意事項: ケガをしたり、壁面を破損しないように注意して下さい。

- 1) ネットワークジャパン (株) が指定している目的以外で本製品を使用しないで下さい。
- 2) 取り付け壁面は、テレビと取り付け金具の総重量の5倍を支える強度が必要です。
- 3) 本製品は金属スタッドの壁での使用には適していません。
- 4) 記載される説明が解らない場合、又は製品の取り付け、組み立て、使用について質問がある場合、カスタマーサービスにお問い合わせ下さい。
- 5) ネットワークジャパン (株) は、不適切な組み立てや使用によって発生した破損またはケガに対して責任を負いません。

1-2 外観図



B 図

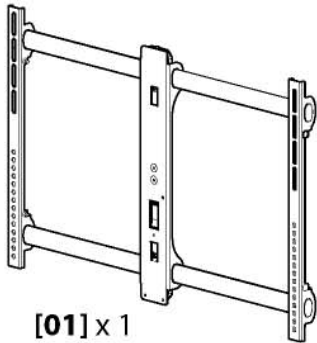
単位: mm
尺度: 任意

3. 部品一覧表

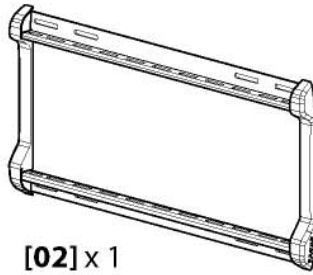
注意：本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

1. 組み立てを始める前に、部品が全て揃っており、破損していないことを確認してください。
2. 足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン(株)のスタマサービスまでご連絡ください。
3. 破損した部品は絶対にご使用にならないでください。

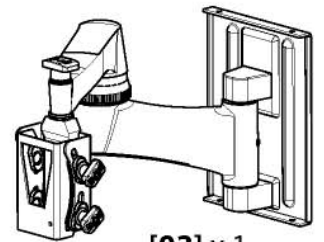
C 図



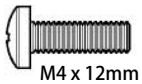
[01] x 1
モニターブラケット



[02] x 1
壁面取付金具



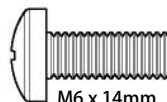
[03] x 1
アームアセンブリー



M4 x 12mm
[04] x 4



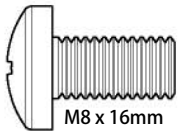
M4 x 30mm
[05] x 4



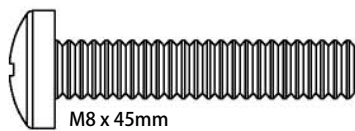
M6 x 14mm
[06] x 4



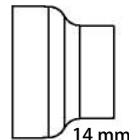
M6 x 40mm
[07] x 4



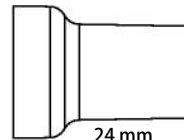
M8 x 16mm
[08] x 4



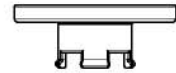
M8 x 45mm
[09] x 4



14 mm
[10] x 4



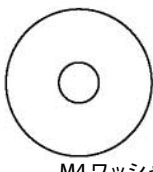
24 mm
[11] x 4



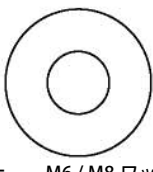
[12] x 4



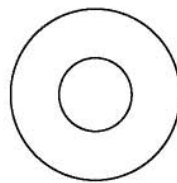
10-32 x 1/4 インチ
[13] x 1



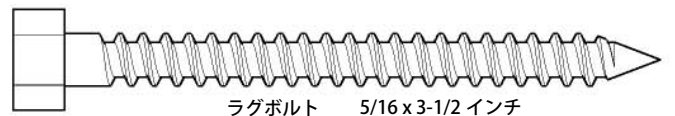
M4 ワッシャー
[14] x 4



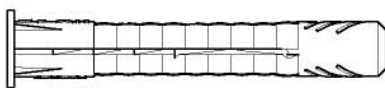
M6/M8 ワッシャー
[15] x 4



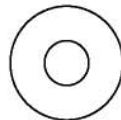
[16] x 4



ラグボルト 5/16 x 3-1/2 インチ
[17] x 4



[18] x 4



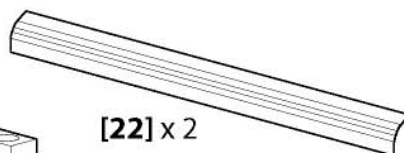
[19] x 4



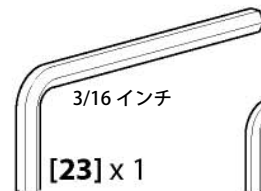
1/4-20 x 5/8 インチ
[20] x 4



[21] x 2 固定板



[22] x 2

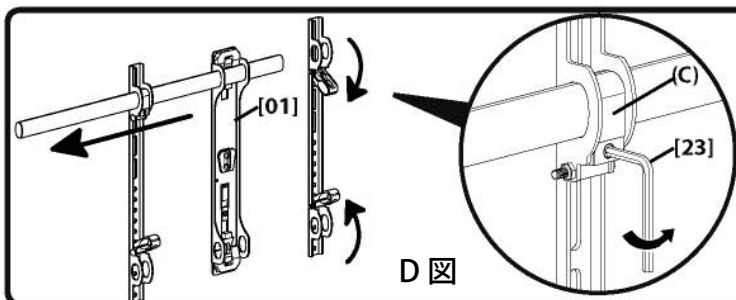


3/16 インチ
[23] x 1



5/32 インチ
[24] x 1

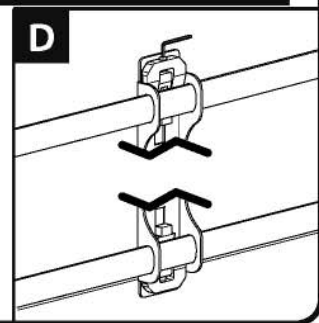
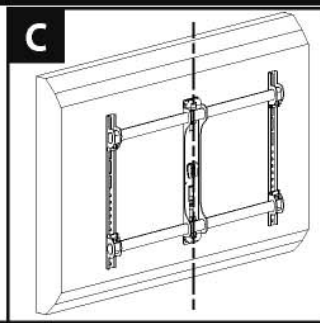
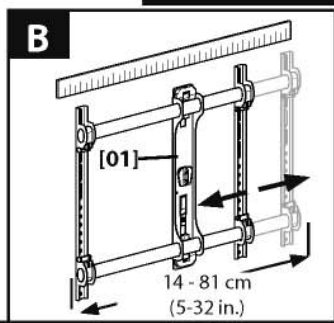
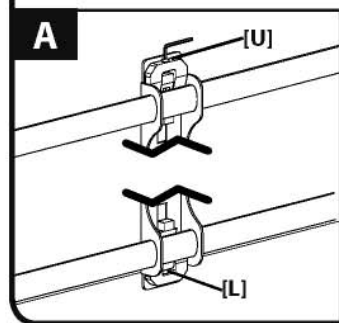
取り付け前の準備 (1) 薄型テレビの取り付け穴ピッチの確認



薄型テレビの取り付けピッチが 400 x 400 mm の穴パターンの時は、ねじ穴がモニターブラケットのロック片に隠れるため、次の準備作業が必要です。
六角レンチ [23] でネジを緩め、全てのロック片 (C) を解除してから、上下の支持パイプを図の矢印の方向に取り外します。これ以外は、下図の A、B、C、D に進んでください。

次の 6 ページでモニターブラケットの取り付けが完了したら、上下の支持パイプも元通りに取り付け直します。又、全てのロック片 (c) を六角レンチで締め付けて、元通りロックします。

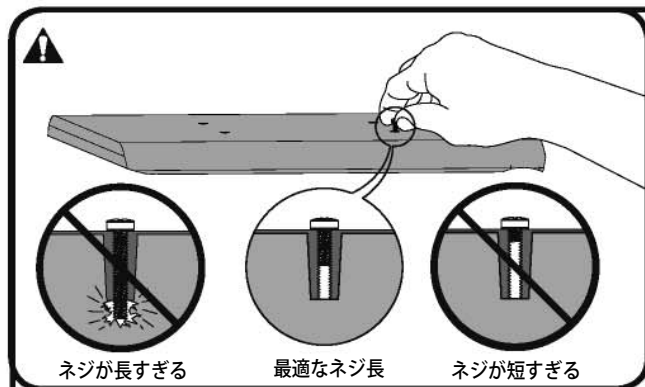
A: 上部の [U] 留め具と下部の [L] 留め具を緩めます。
B: お使いのテレビの穴パターンに合うように、モニターブラケット [01] を調節します。
C: 中央のバーがテレビ左右の中央にあることを確認します。
D: 上部の [A] 留め具と下部の [B] 留め具を締めます。ただし、締めすぎないでください。



4. 取付方法

1. 取付用部品の選択と、モニターブラケットの取付

(1-1) 取付用部品と、ネジの口径とネジ長の選択



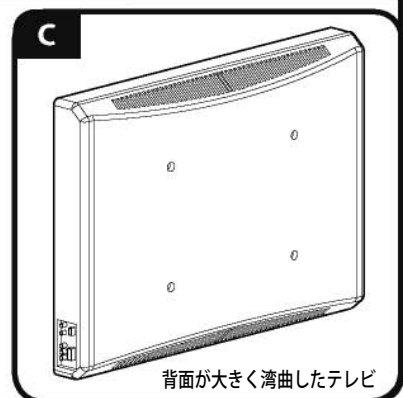
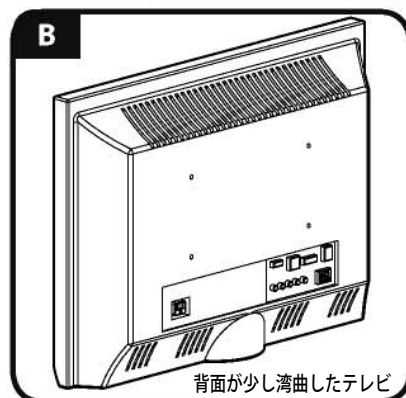
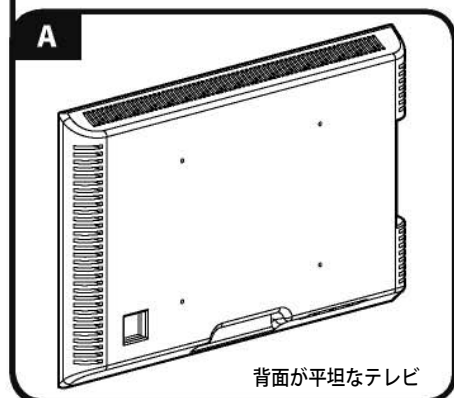
お使いのテレビのタイプによって、取付に使う部品が異なります。次のページに記載する推奨部品の中から、お使いのテレビのタイプに一致するものを選択して下さい。

- A: スペースを使用しない取付 (背面が平坦なテレビ用)
- B: 14 mm のスペースを使用する取付 (背面が平坦でないテレビ用)
- C: 24 mm のスペースを使用する取付 (背面に更に大きな窪みや曲がりがあり 14mm スペースでは取付られない場合)

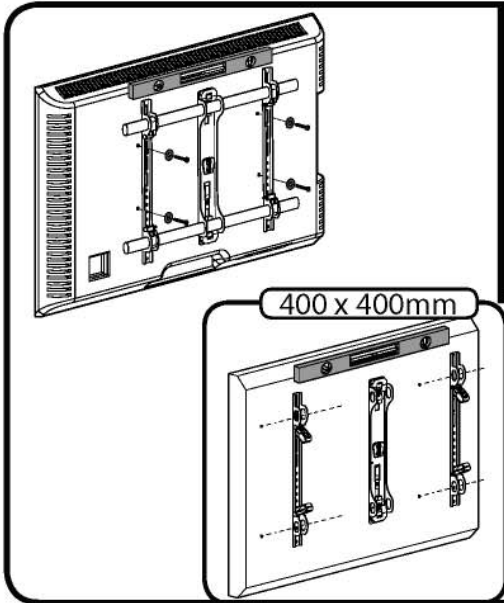
次にテレビの背面のネジ穴に、ネジを手で入れて、取付に使用する正しいネジの直径 (M4、M6、または M8) を決めます。

注意: ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。
テレビをブラケットで固定するためにネジの長さが十分かどうかを確認します。
ねじ込んでいて抵抗があった場合は、直ちに中止して、カスタマーサービスに連絡してください。

ネジ長は、最も短いネジとスペースを組み合わせて使用します。
使用するネジが長すぎると、テレビ内部の部品等を破損する恐れがあります。



(1-2) 背面の平坦な薄型テレビにモニターブラケットを取付ける



前項目で選択したネジの口径に従って、次の部品を選択して取り付けます。

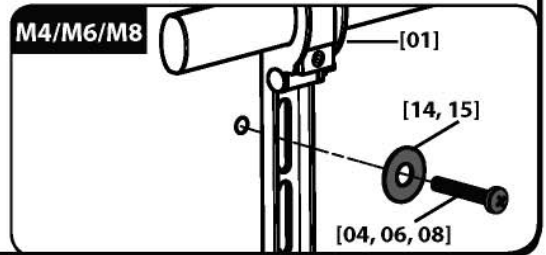
- 1) M4 x 12 mm ネジ [04] を選択した場合、M4 ワッシャー [14] を使用します。
- 2) M6 x 14 mm ネジ [06] を選択した場合、M6/M8 ワッシャー [15] を使用します。
- 3) M8 x 16 mm 直径ネジ [08] を選択した場合、M6/M8 ワッシャー [15] を使用します。

モニターブラケットは、テレビの背面と水平になるようにして下さい。

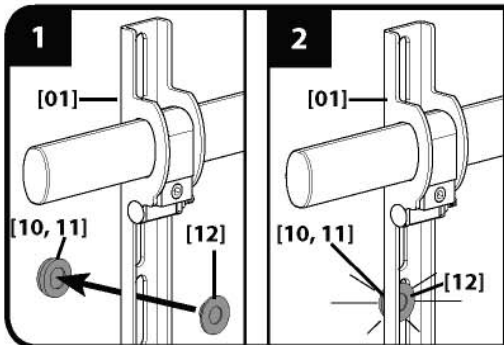
テレビの取付ピッチが 400 x 400 mm の時、 ブラケットの取付完了後、上下の支持パイプも元通りに取付け直します。又、全てのロック片 (c) を六角レンチで締め付けて、元通りロックします。

もし、ケーブルや、テレビの背面の窪み、又は突起物に対して余分なスペースが必要な場合は、次の背面が屈曲している場合の取付方法に従って下さい。

G 図



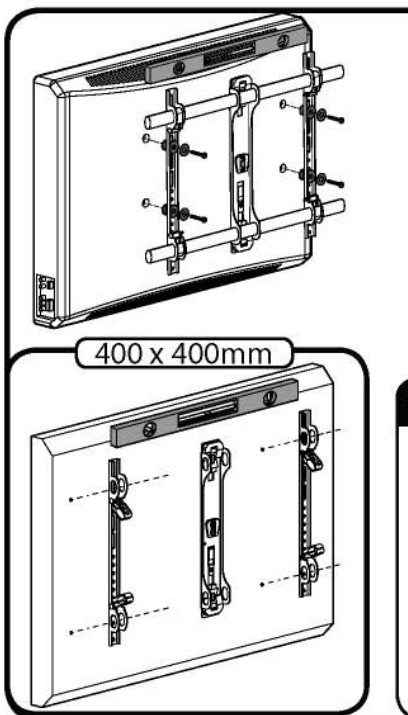
(1-3) 背面が屈曲したり窪みのある薄型テレビにモニターブラケットを取付ける



1. 最適なモニターブラケット [01] の穴にショルダワッシャー [12] を通します。(左の 2 図)
2. 前項で選択したネジの口径に従って、下記の説明に記載のペーサーにショルダワッシャー [12] を取り付けます。(左の 1 図)

お使いのテレビの背面が湾曲していたり、障害物がある場合、またはケーブル、窪み、突起に対してスペースが必要な場合は、14 mm または 24 mm のスペーサー [10 又は 11] のいずれかを使用します。

H 図



上記の説明に記載したように、ネジの口径により、ワッシャーやスペーサーを選択します。

M4 x 30 mm ネジ [05] を選択した場合、M4 ワッシャー [14] およびスペーサー [10] を使用します。

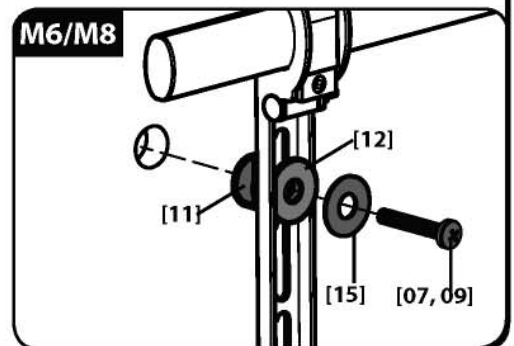
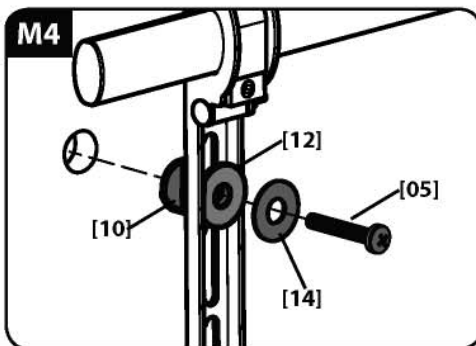
M6 x 40 mm ネジ [07] を選択した場合、M6/M8 ワッシャー [15] およびスペーサー [11] を使用します。

M8 x 45 mm ネジ [09] を選択した場合、M6/M8 ワッシャー [15] およびスペーサー [11] を使用します。

ブラケットがテレビの背面と水平になるようにしてください。

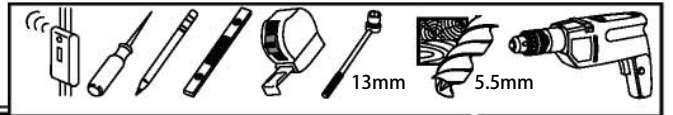
テレビの取付ピッチが 400 x 400 mm の時、 ブラケットの取付完了後、上下の支持パイプも元通りに取付け直します。又、全てのロック片 (c) を六角レンチで締め付けて、元通りロックします。

標準の部品類の設定は図のとおりです。特別な用途の場合、又は部品の選択に関して不明の場合、カスタマーサービスに連絡してください。

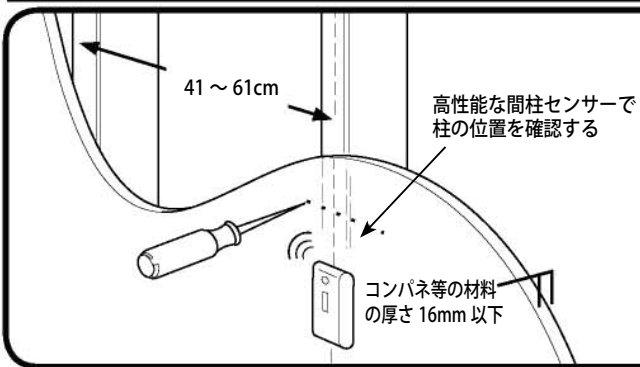


2 壁面取付金具の壁面への取付

(2-1) 壁面取付金具の木柱への取付



1 図

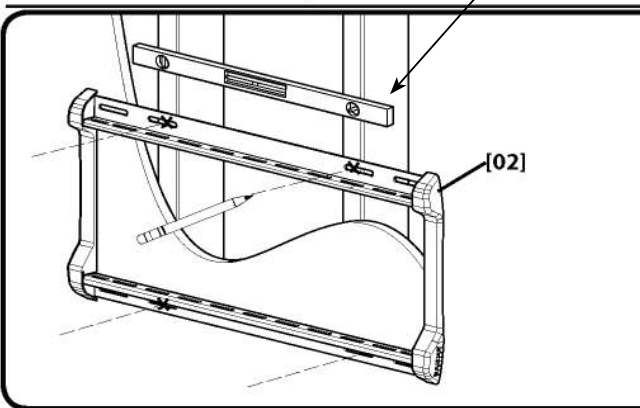


(1) 千枚通しや、細い釘や、高性能柱センサーを使って、木柱の中央の位置を確認します。

注意: ケガをしたり、壁面を破損しないように注意して下さい。又適切に作業しないと壁面取付金具がしっかりと取り付けられません。

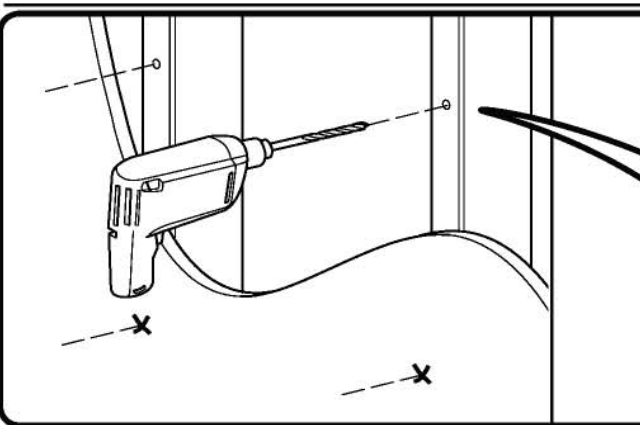
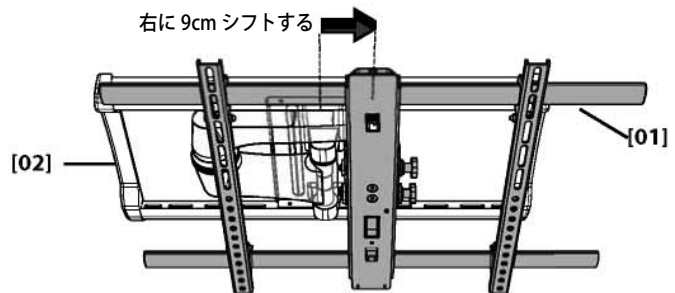
(2) 壁面を覆う材料は 16 mm を超えないようにして下さい。
 通常の木柱の寸法: 通常 51 x 102 mm (2 x 4 in.)、
 小型 38 x 89mm (1.5 x 3.5in)

水準器で壁面取付金具が、
 水平に取り付くよう確認する

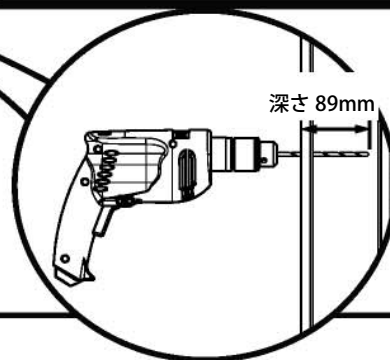


壁面取付金具 [02] を水平に置き、これを壁紙代わりにして取付穴の位置に 4 力所印を付けます。

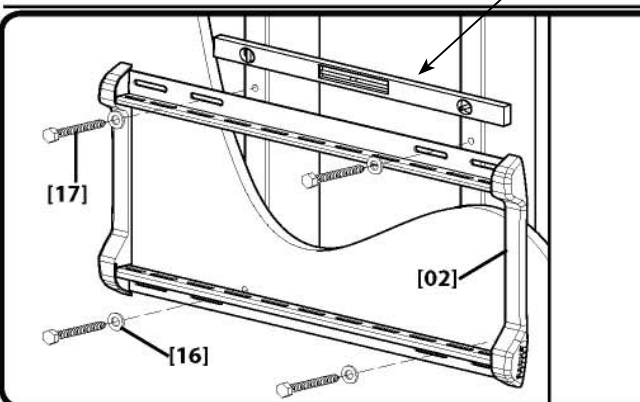
注記: テレビがホームポジションにある時、壁掛け金具の中心から右に 9 cm ずれます。壁面取付金具の位置決めの時、この点を配慮してください。



図のように直径 5.5mm m、深さ 89mm の下穴を 4 個開ける。



水準器で壁面取付金具が、
 水平に取り付くよう確認する



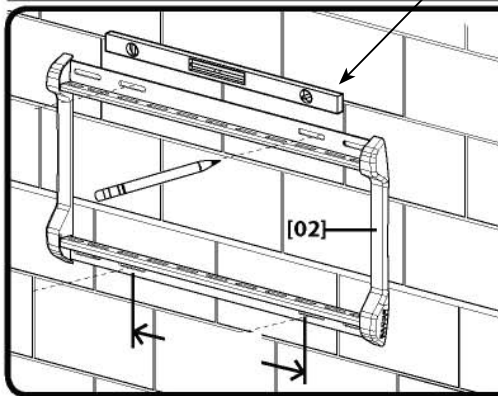
取り付ける壁面に、壁面取付金具 [02] を置いて、ラグボルト [17] とワッシャー [16] でしっかり固定するように 4 力所締め付けます。壁面取付金具 [02] が、壁面にしっかりと固定されるまで、ラグボルト [17] で締めつけます。

注意: 不適切な作業は、壁面を傷つけたり、ラグボルトでの保持力が減少します。怪我や壁面の破損を防止する為に、ラグボルトは、[17] を締めすぎないようにして下さい。

(2-2) 壁面取付金具のコンクリート又はコンクリートブロックへの取付



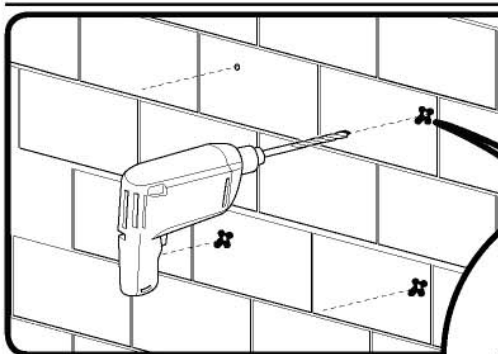
水準器で壁面取付金具が、
水平に取り付くよう確認する



図のように、壁面取付金具 [01] を型紙代わりに水平に置いて、穴の位置に 4 箇所印を付けます。

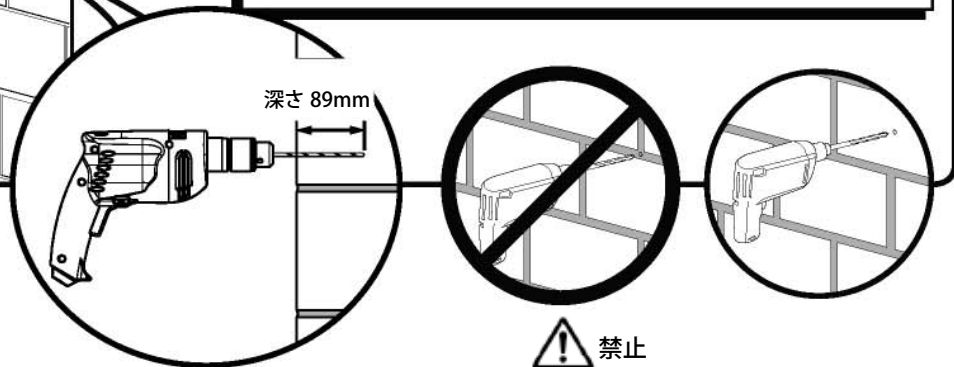
- 壁面取付金具 [02] は、コンクリート壁面に直接取り付けます
- コンクリートの最小の厚さは 203mm、又コンクリートブロックの最小のサイズは 203x203x406mm (8x8x16 インチ)。

J 図



下穴は、直径 10mm、深さ 89mm とします。
ブロックの間のモルタルには、ドリルで穴を開けないで下さい。

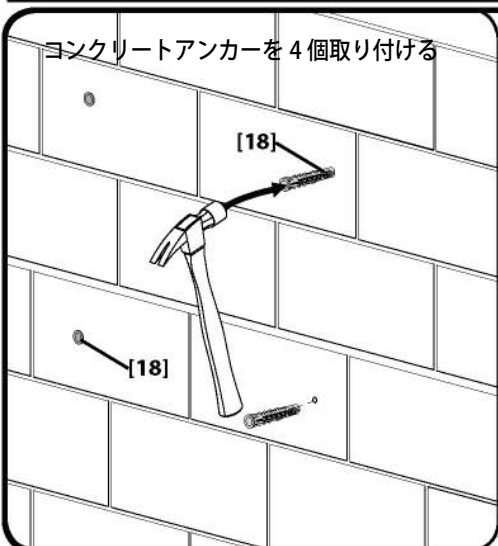
注意：ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。



⚠ 禁止

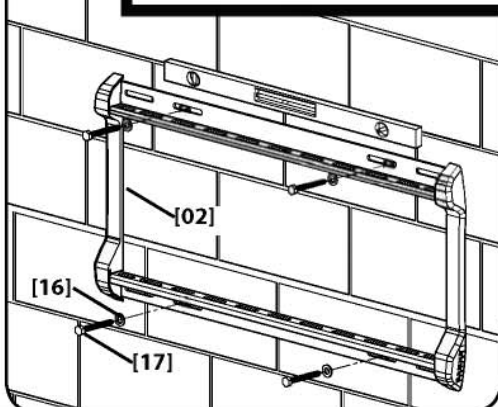
注意：ブロック間の繋ぎ目に取り付けしないで下さい。

注意：不適切な作業は、ラグボルトでの保持力が減少します。
怪我や壁面の破損を防止する為に、ラグボルトは、[17] を締めすぎないようにして下さい。

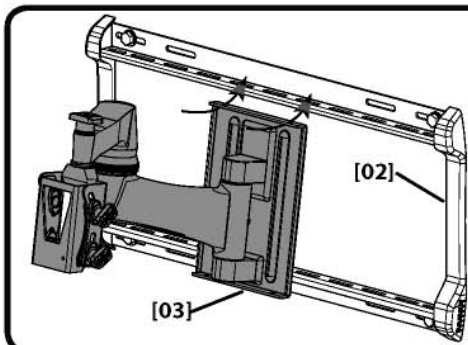


コンクリート壁面にコンクリートアンカー [18] を 4 個と打ち込みます。
「取り付ける壁面に、壁面取付金具 [02] を置いて、ラグボルト [17] でしっかり固定するように締め付けます。
壁面取付金具 [02] が、壁面にしっかりと固定されるまで、ラグボルト [17] とワッシャー [16] を各 4 個で締めつけます。

注意：怪我や、壁面の破損を防止する為にコンクリートアンカー [08] が、コンクリートの壁面にきちんとそろって取り付けます。

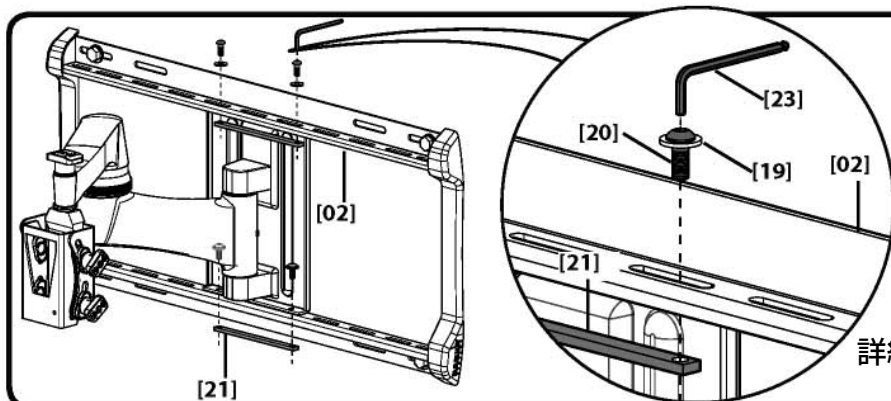


3 アームアセンブリーを壁面取付金具に取付ける



K 図

アームアセンブリー [03] の上部と下部にある穴を壁面取付金具 [02] のスロットに矢印の方向から合わせます。

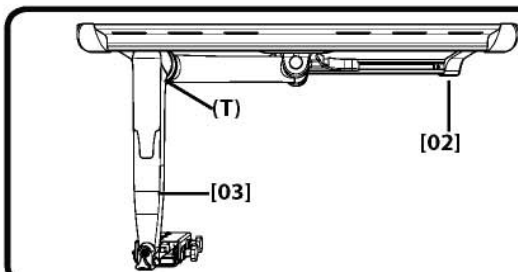
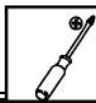


詳細図

壁面取付金具 [02] の上面から詳細図に示すように、ワッシャー [19] とネジ [20] を各2本使って、固定板 [21] とアームアセンブリー [03] を壁面取付金具 [02] に取り付けます。

同様に、壁面取付金具 [02] の下部も、ネジ [20] とワッシャー [19] 各2本と固定板 [21] でしっかりと締め付けて固定します。

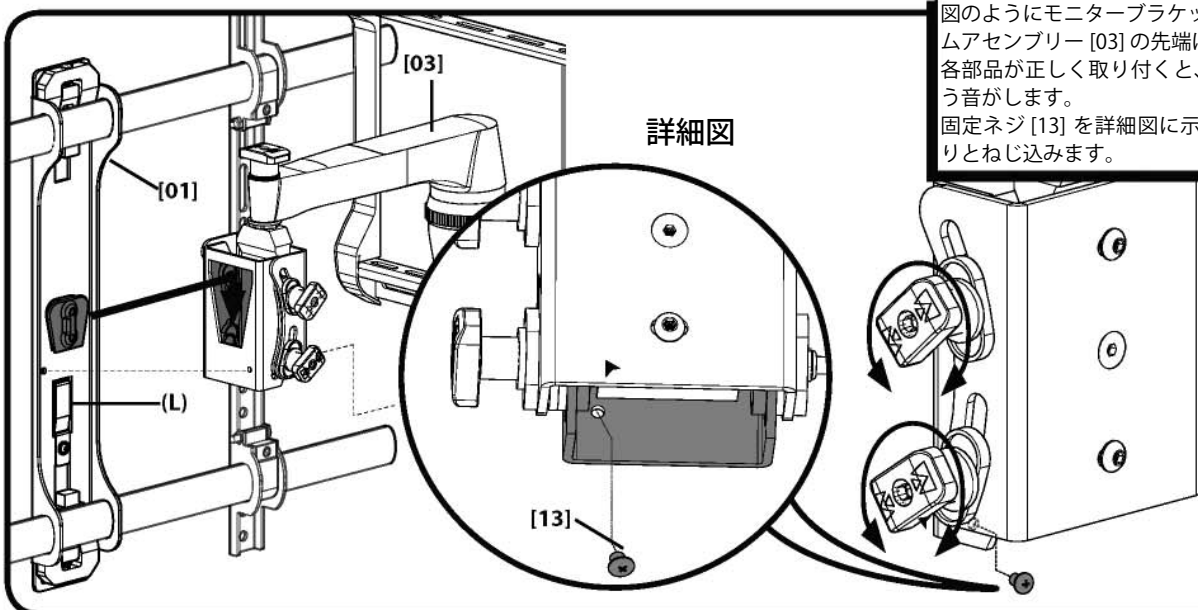
4 薄型テレビをアームアセンブリーに取付ける



L 図

アームアセンブリー [03] のアームの肘の一部が、図の様に、壁面方向に押しつけるような位置に配置します。

次に、2箇所所のテンション調整 [T] を締め付けて、アームの動きを固定します。



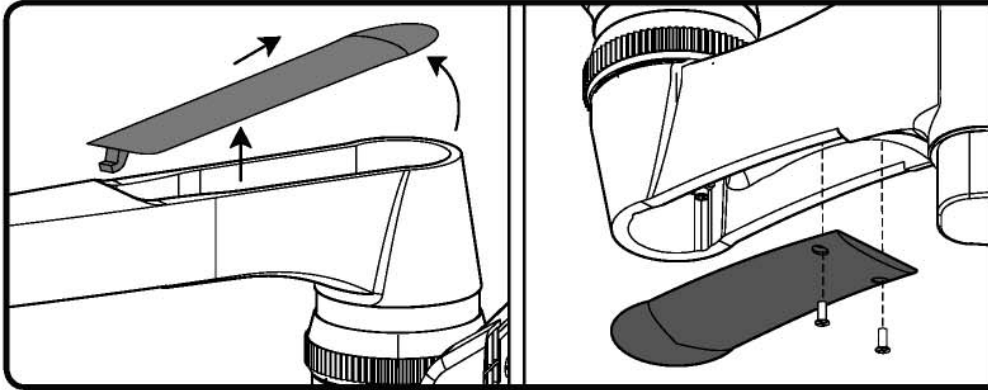
詳細図

図のようにモニターブラケット [01] を、アームアセンブリー [03] の先端に取り付けます。各部品が正しく取り付くと、「カチッ」という音がします。

固定ネジ [13] を詳細図に示す位置にしっかりとねじ込みます。

5 ケーブル類の整理

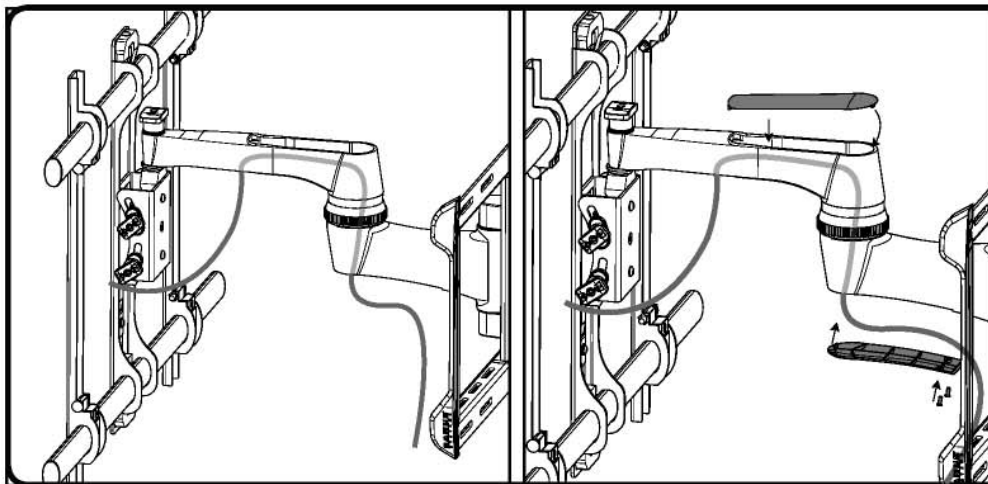
(5-1) カバーを取り外す



下記の説明のようにアームアセンブリーのカバーを取り外します。

アームアセンブリー部 [03] の上面に取り付けてあるカバーを、前方向きに押すと、カバーが上向きに飛び出します。同様にアームアセンブリー部 [03] の下面に取り付けてあるカバーを、2本のネジを緩めて取り外します。

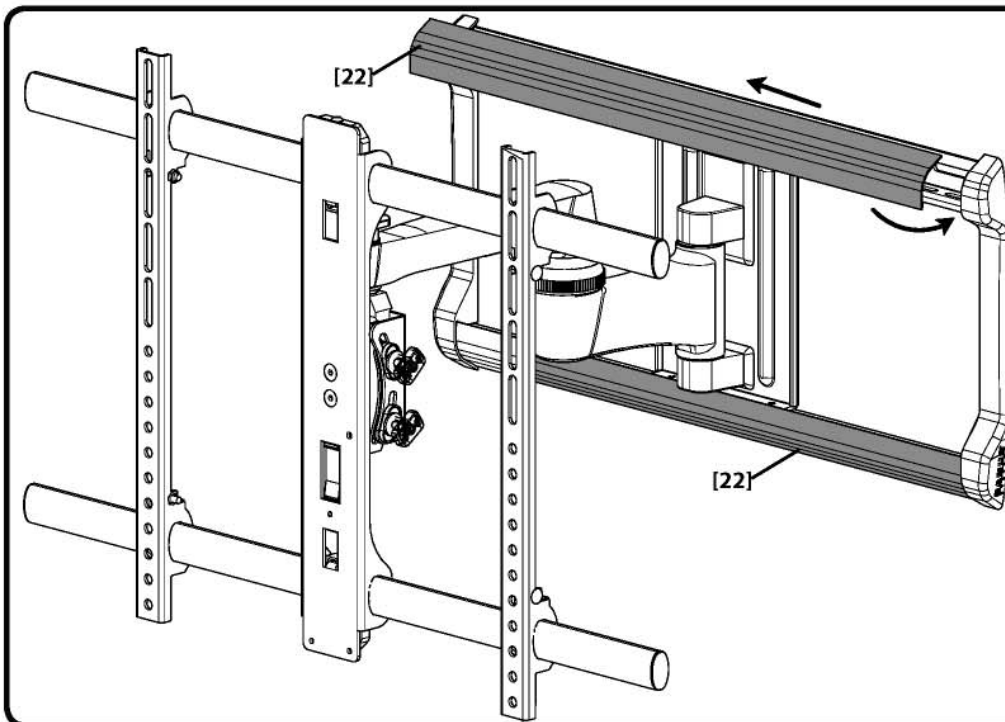
(5-2) ケーブル類を配線する



アームアセンブリー [03] の各アームは一直線上に前の方向に延ばします。薄型テレビへの電源コードやアンテナケーブル類や、HDMIケーブル等のオーディオ・ビデオケーブル類を、図に示すようにアームアセンブリーのアームの中を通します。

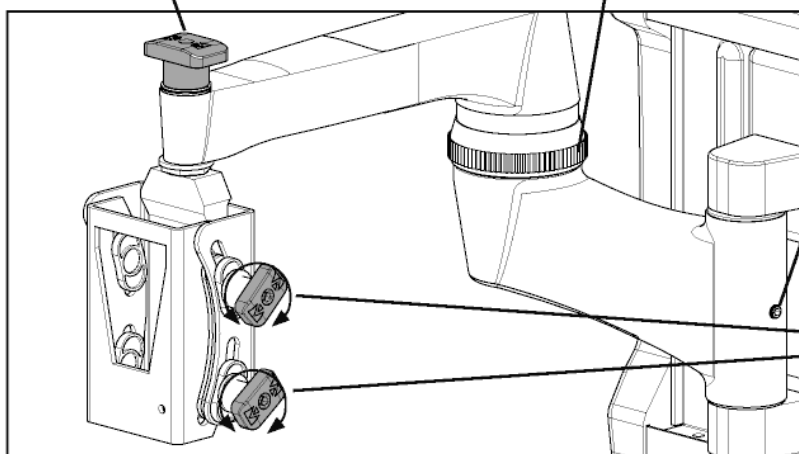
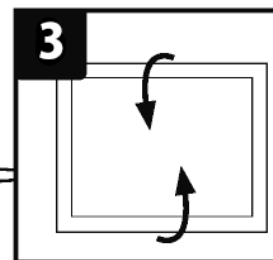
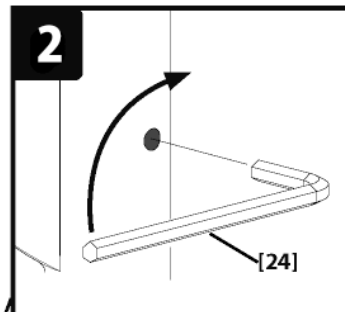
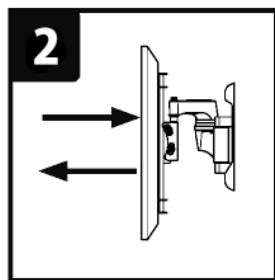
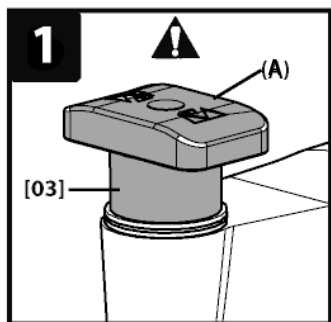
各ケーブル類は、アームが動かした時に引っ張られないように、十分たるませておきます。最後に、取り外した2箇所のカバーは、元通りに取り付けます。

(5-3) カバーを取り付ける



壁面取付金具 [02] の上及び下に、化粧カバー [22] を図のように挿入して取り付けます。

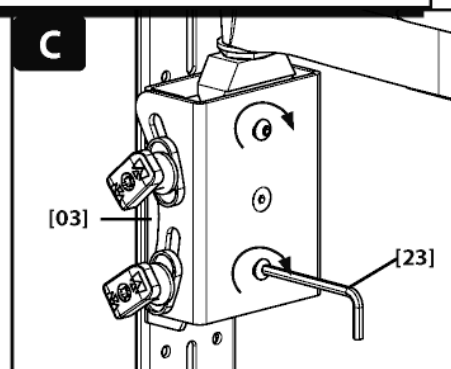
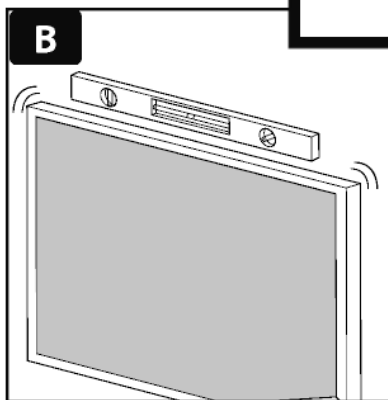
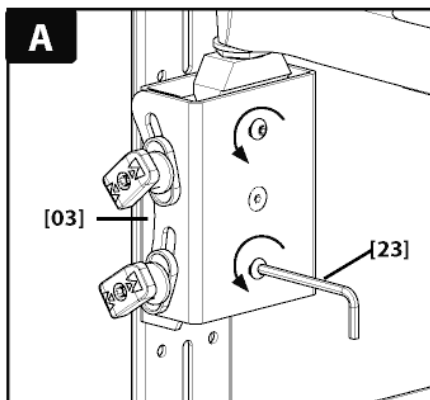
6 アームアセンブリーの各種調整



1. 左右の首振りテンションを (A) ノブで調整します。
注意：このテンションノブ (A) は絶対取り外してはいけません。
2. アームの伸縮のテンションを調整します。
3. このつまみで上下方向のティルトを調整します。

6-1

薄型テレビの水平度は、アームアセンブリー [03] に取り付けた A 図に示すネジを回転させて調整します。



このネジを緩めてから B 図のように、薄型テレビが、丁度水平になるように位置調整を行い、完了後このネジを締め付けます。(C 図)
水準器があれば、B 図のように、これを活用するのがベストです。

注意：調整に使用するネジは上側と下側のみで、中央のネジは、締め付けたり緩めたりしてはいけません。



Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ

〒559-0031 大阪市住之江区南港東1丁目2-16

ネットワークジャパン株式会社 TEL:06-6612-2008 FAX:06-6612-2050

<http://www.network-jpn.com/> E-mail: info@network-jpn.com

(12)